

[2017年4月25日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-29379

## これから学びはじめる学生が橋梁工事を体感

～北陸新幹線 九頭竜川橋りょう工事見学研修～

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、2017年4月21日福井大学工学部建築・都市環境工学科、及び同大学院工学研究科の学生計80名を招待し、平成35年春に開業を予定している北陸新幹線の金沢―敦賀間のうち九頭竜川橋りょう（福井市）の工事見学会を実施しました。当該橋は中央に新幹線（複線）、その両側に県道（4車線）が並走する日本初となる併用橋で、長さ約415m幅約34mあります。見学会はこれから学び始める大学1年生を中心に、学科オリエンテーション授業の一環として、身近な建設現場に触れ、建設工事のダイナミックさと、社会資本整備を支えるさまざまな建設技術の魅力について理解を深めてもらうことを目的としています。

■今月11日に福井大学で具体的な工事内容について座学の事前授業を行い、続いて21日に現場見学を行いました。見学会では最初に現場代理人の遠藤文美男所長が、上部工で採用している作業台車（ワーゲン）による張り出し架設工法の概要を説明。橋桁は橋脚を起点に「やじろべえ」の両手を伸ばすように、バランスを取りながら3～4メートルずつ左右に延ばしていくと説明しました。その後、将来新幹線が通る高さ15mの橋桁の上へのぼり、橋桁の施工状況を間近で見学しました。橋桁上からは多くの釣り人が糸を垂れる自然豊かな九頭竜川の雄大な風景を見ながら、難工事といわれる工事であること、北陸新幹線の日も早い開業のため、昼夜施工しているという話に耳を傾けました。

■見学を終えた学生からは「工事現場をこんなに間近でみたのは初めて。」「土木構造物の想像以上のスケールに感動した。」などの感想をいただきました。同大学工学部の寺崎寛章助教からは、「これから学ぶ学生にとって施工を学ぶ大変貴重な機会だった。建設産業への学生の見方や考え方に影響を与えるだろう。」とコメントをいただきました。

■鉄建建設では、今後も建設業界の次代を担う学生たちに建設現場に直接触れてもらい、建設業の魅力を伝える活動を、継続していきたいと考えています。



橋桁上へのぼった学生



工法の説明に耳を傾ける学生

以上